

「日本と世界が出会うまち・堺 2014」研究発表・講演会について

堺市博物館と大阪大学歴史教育研究会の共催事業として、堺の国際交流の歴史などにスポットをあてた「日本と世界が出会うまち・堺 2014」プロジェクトを実施しています。このプロジェクトは、昨年に引き続き開催するもので、中学生・高校生による堺の国際交流の歴史などの研究発表とともに、日本や世界の歴史を知ることの意義についての一般市民向けの講演を実施するというものです。

堺は、ユネスコ世界文化遺産登録をめざす百舌鳥古墳群が造営された古代以来、アジアをはじめとする多彩な国際交流の歴史を持っています。とりわけ、15世紀から17世紀には、日明貿易、琉球貿易、「南蛮貿易」、朱印船貿易などの国際交易で繁栄し、「日本のベニス」と呼ばれました。千利休に代表される茶の湯文化なども、この時代に大きく花開きました。次代を担う中学生・高校生を対象に、このような堺の国際交流の歴史やユネスコ世界文化遺産などをテーマとした研究発表を行うグループを公募したところ、5つの中学校・高等学校から7グループの応募がありました。今回の研究発表・講演会は、これらの研究発表や、日本や世界の歴史についての最新の研究成果に関する講演を通して、日本や世界の歴史に対する理解を深めるとともに多文化共生の心を育み、アジアをはじめ世界各地との新たな架け橋となる人材の育成をめざして開催します。

堺の豊かな歴史文化や国際交流、学校での歴史教育などに関心を持たれている多くの市民の皆さんのご来場をお待ちしています。

当日のプログラム

- 13:00 開会
- 13:10～ 研究発表（7グループ）
- 15:30～ 休憩
- 15:40～ 講演
- 16:40～ 審査結果発表、表彰式、講評
- 17:00 閉会

会場アクセス(表面地図参照)

サンスクエア堺

- ◆電話=072-222-3561
- ◆最寄駅=JR阪和線・関西空港線「堺市駅」

講演 講師プロフィール

桃木 至朗 (ももき しろう)

大阪大学大学院文学研究科教授(東洋史学)。専門は、ベトナム中・近世史を中心とする東南アジア史。現在、海城アジア史の構築に取り組むとともに、今回のプロジェクトの主催者である大阪大学歴史教育研究会の代表として、世界史教育再建のための評論・解説・教材作成や、歴史学、歴史教育をめぐる「高大連携」などに力を注いでいる。

『歴史世界としての東南アジア』(山川出版社/1996)、『海城アジア史研究入門』(共編者/岩波書店/2008)、『わかる歴史・面白い歴史・役に立つ歴史』(大阪大学出版会/2009)、『中世大越国家の成立と変容』(大阪大学出版会/2011)、『市民のための世界史』(共編者/大阪大学出版会/2014)など著書多数。

申し込み方法

FAX、電子メール、往復はがきのいずれかに、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話、FAX番号、同伴者氏名(1通につき4人まで)を記入して、9月8日(月)までに堺市博物館「研究発表・講演会」係(〒590-0802 堺市堺区百舌鳥夕雲町2丁 大仙公園内 電話:072-245-6201 FAX:072-245-6263 電子メール:hakugaku@city.sakai.lg.jp)までお申し込みください。定員400人。多数の場合は抽選。参加の可否は、ご連絡いたします。

申込用紙(ご記入いただいた個人情報は、本プロジェクト以外には使用いたしません。)

FAX 072-245-6263 堺市博物館「研究発表・講演会」行

申込者氏名	(ふりがな)	
住所	〒	
電話/FAX番号		
同伴者氏名 (4人まで)	(ふりがな)	(ふりがな)
	(ふりがな)	(ふりがな)